

指定管理者評価表

令和5年6月1日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館	
所在地	芦屋市伊勢町12番25号	
指定管理者の名称	小学館集英社プロダクション共同体	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
施設概要	芦屋市立美術博物館(展示室、講義室、体験学習室、ホール、小出檜重アトリエ、喫茶室) 開館時間 10:00～17:00(但し、入館は16:30まで)	
業務概要	芦屋市立美術博物館の維持管理、利用許可、運営等に関する業務	
収支の状況	事業計画上の金額	実績額
R3年度収入	84,240,000 円	81,223,027 円
R3年度支出	84,240,000 円	81,866,965 円
R3年度収支	0 円	-643,938 円
R4年度収入	64,995,000 円	62,307,775 円
R4年度支出	64,995,000 円	58,776,067 円
R4年度収支	0 円	3,531,708 円
所管課・記入者	教育部社会教育室生涯学習課 田嶋 修	
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	

評価項目	説明	点数	得点率	評価
1 全般的事項	満点	22	77%	C
事業計画等	年次事業計画書は、適切に作成され提出されたか	17		
計算書類等	指定管理者の計算書類等は、適切に作成され提出されたか			
月次報告等	月次報告書は、適切に作成され提出されたか			
事業報告書	事業報告書は、適切に作成され提出されたか			
次年度準備	次年度の年次事業計画書は、適切に作成され提出されたか			
2 適正な施設の管理	満点	38	70%	B
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	26.5		
従業員管理	適正な労働環境が保持されているか			
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか			
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか			
研修計画	従業員研修が十分に実施されているか			
3 事業収支・指定管理者の財政基盤・内部統制	満点	28	70%	B
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	19.5		
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか			
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能しているか			
4 サービスの質の維持・向上	満点	26	69%	B
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか	18		
サービス向上	サービス向上の取組がされているか			
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか			
加重平均後合計評価			70%	B

項目名	令和3年度		令和4年度	
	実績	目標	実績	
利用状況等				
有料入館者数	4,329 人	2,500 人	2,674 人	
内、大・高校生入館者数	506 人	375 人	98 人	
無料入館者数	15,482 人	7,500 人	2,496 人	
内、小・中学生入館者数	2,825 人	450 人	337 人	
入館者数(有料+無料)	19,811 人	10,000 人	5,170 人	
利用満足度調査結果	R3年度	回答者数	総合的な満足度(とても満足・まあまあ満足の割合)	
		1,154 人	92.6 %	
	R4年度	回答者数	総合的な満足度(とても満足・まあまあ満足の割合)	
		411 人	96.1 %	
			実施時期	
			令和3年4月1日～平成4年3月31日	
			実施時期	
			令和4年4月16日～令和4年6月19日	

総合評価	評価の理由、次期指定に向けての課題等
B	今年度は機械設備等改修工事に伴い令和4年7月1日から令和5年3月31日まで休館したため、入館者数等は減少している。しかしながら、休館中もライブイベント「music/museum」の開催や小学校での出前授業、学芸員コラムのホームページ掲載等、積極的に事業を実施したことは評価できる。以上から、加重平均後合計評価を踏まえ総合評価は「B」とする。

※ 評価は、得点率によりS～Dの5段階評価とする。

[1 全般的事項] A: 要求事項を完全に満たした(得点率100%) B: 要求事項を満たした(90%以上) C: 要求事項を満たさなかった(90%未満)

[2 適正な施設の管理] [3 事業収支・指定管理者の財政基盤・内部統制] [4 サービスの質の維持・向上]

S: 極めて優れた成果を上げた(得点率90%以上) A: 優れた成果を上げた(75%以上90%未満) B: 一定の成果を上げた(60%以上75%未満)

C: 期待された成果を上げられなかった(50%以上60%未満) D: 成果を上げていない(50%未満)

※ 目標値を大幅に上回る成果を上げたなど加点事由がある場合には、所管課の判断で加点したうえで総合評価を行う。

サービス向上策

令和5年6月1日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館
---------	-----------

サービスの向上策	実施時期	進捗状況	指示事項等
1 事業計画書に記載のあるもの			
谷崎潤一郎記念館との相互入館割引の実施	4月～6月	各展覧会で実施	引き続き実施すること
アンケート調査の実施	4月～6月	展覧会ごとに実施	引き続き実施すること
博物館実習の受け入れ	—	機械設備等改修工事が実施されるため、募集せず	R5年度は実施すること
職業体験(トライやるウィーク)の受け入れ	—	受け入れせず	R5年度は実施すること
『美術博物館だより』の発行	3月	発行済み	引き続き実施すること
【休館中の教育普及事業】 小学校での出前授業	1月・2月	4回実施	
【休館中の教育普及事業】 学芸員コラムのホームページ掲載	8月～3月	8回掲載	
【休館中の教育普及事業】 他公立館への収蔵品の貸出	7月～3月	5館に貸出	
2 事業計画書に記載のないもの			
入館者に割引喫茶券を配布 (隣接する喫茶店との連携)	4月～6月	受付で配布	
芦屋市文化ゾーン連携イベント 「niwa-doku」の開催	6月	509人参加	
【休館中の活動】 ライブイベント「music/museum」の開催	7月	227人参加	
【休館中の活動】 動物園スケッチ会	7月	6人参加	
【休館中の活動】 『広報あしや』コラム連載	8月～2月	7回掲載	

アンケート結果

令和5年6月1日現在

公の施設の名称	芦屋市立美術博物館
---------	-----------

利用者アンケート結果

【実施対象期間】 令和4年4月16日(土)～令和4年6月19日(日) 56日間
【対象展示事業】 「北原照久コレクションーおもちゃ！ 広告！ 驚きと感動と心温まる物語ー」
【回答者数】 413人(内、満足度調査回答者数410人)
【結果内容】 大変満足 … 177人(43.2%)
満足 … 217人(52.9%)
やや不満 … 16人(3.9%)
不満足 … 0人(0%)